

カワアイサ

Mergus merganser Linnaeus

カモ目カモ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

選定理由

近年、個体数が減少しており、落ち着いて生息できる環境が減少している。

形態

全長51～68cm。大型のカモで、雄の冬羽は頭が緑光沢の黒色。上頸以下はピンクがかかった白色で、背は黒色。嘴と足は赤色。雌はウミアイサの雌に似る。雄のエクリプス羽は雌に似る。

国内分布

冬鳥として渡来し、北日本に多い。少数が北海道で繁殖する。

県内分布

冬鳥として渡来し、主に河北潟などで見られるが、犀川や手取川の中流域などでも少数が越冬する。近年渡来数が減少し、1980年代に比べ、渡来数は半分以下となっている。

生態

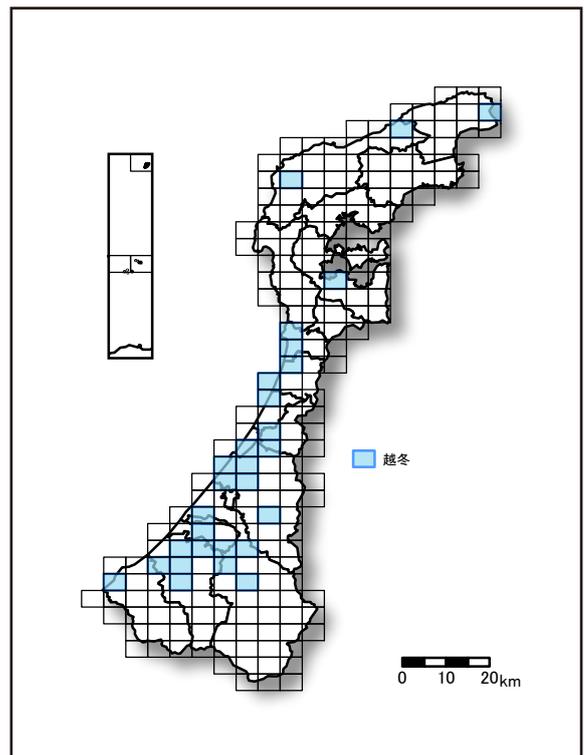
越冬中は内陸の大きな湖沼や内湾などで過ごす。数羽から100羽位のような群となる。活動的で、頭だけを水中に入れて魚を探しながら泳ぎ、潜って採食する。繁殖期は森林内の湖沼、河川、池などにすみ、樹洞を使って繁殖する。主食は魚類で、甲殻類や水生昆虫も食べる。

生息地の条件

大きな魚が豊富に生息し、あまり人が近づかないような河川、湖沼の存在。

生存の危機

環境の悪化などにより餌となる河川の魚が減少。(A)



県内の分布